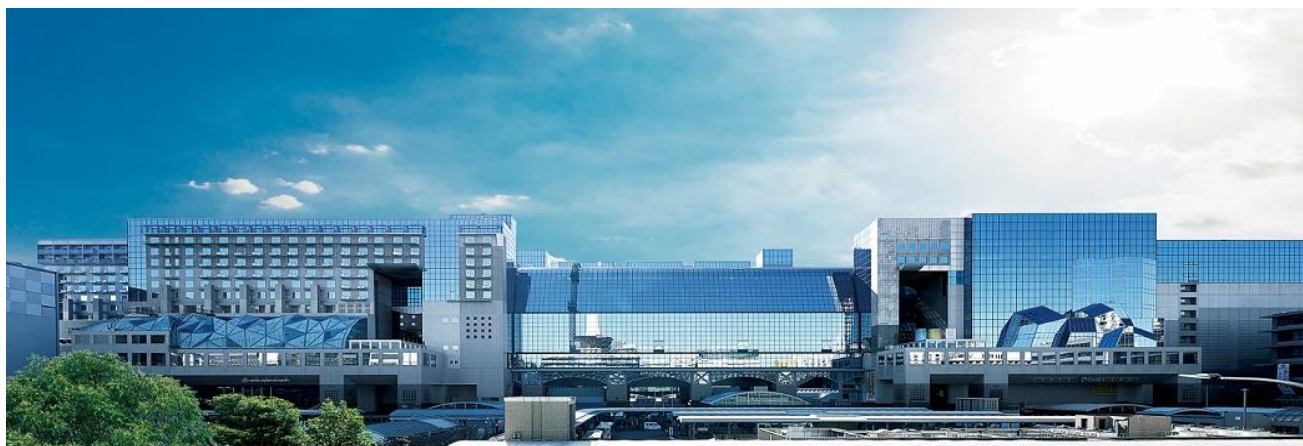

2021 年 2 月 12 日

京都駅ビル 熱源・空調設備改修が ASHRAE Technology Award で最優秀賞を受賞！



京都駅ビル開発株式会社（所在地：京都市下京区 代表取締役社長：福山隆夫）は、この度 NPO 法人 建築設備コミッション協会、株式会社日建設計、高砂熱学工業株式会社、京都駅ビル開発株式会社の 4 社で ASHRAE Technology Award 商業ビル-既存部門 テクノロジー賞 最優秀賞を(※1)共同受賞致しました。

ASHRAE Technology Award（アシュレイ テクノロジー アワード）は 1999 年より、(※2)ASHRAE が毎年実施しており、この賞は、省エネルギー性、室内の空気環境や快適性、周辺環境との調和、居住者の健康、革新的な設計といった評価項目などを高いレベルで実現した環境建築に与えられる国際的な表彰制度です。

この賞の受賞を機に、京都駅ビルは更なる地球環境負荷の軽減に取り組み、社会に貢献できる会社を目指します。



受賞者：左から森様（高砂熱学工業）、吉田様（コミッション協会）、牛尾様（日建設計）、高浦（京都駅ビル開発）

尚、京都駅ビルは平安建都 1200 年の記念事業として計画され、1997 年 9 月 11 日、国際観光都市・京都の新しい玄関口「人と文化の会える街」をコンセプトとする複合ステーションビル・京都駅ビルがグランドオープンしました。この間、地球環境問題への関心が高まる中、京都駅ビルは 1 棟の建物として京都市の中でも多くの二酸化炭素を排出しており、環境モデル都市において末永く必要とされる駅ビルとなるためには地球環境問題への対応が求められることとなりました。そのような状況の中、環境負荷軽減の取り組みを進め、2014 年熱源・空調設備の改修に着手し、建物全体として約 30%、改修対象の設備において約 60%におよぶ一次エネルギー消費量の削減を達成しました。この改修プロジェクトの実績が認められ、2019 年、平成 30 年度省エネ大賞「経済産業大臣賞」、同年 6 月には空気調和・衛生工学会特別賞 第 7 回「リニューアル賞」、建築設備技術者協会 カーボンニュートラル賞の中で最も優れた 第 7 回カーボンニュートラル大賞を受賞しています。

※1 本賞は関係プロジェクトを代表し、NPO 法人建築設備コミッショニング協会 理事長 吉田治典様、株式会社日建設計 エンジニアリング部門設備設計グループアソシエイト 牛尾智秋様、高砂熱学工業株式会社 大阪支店京都営業所担当部長 森茂美様、京都駅ビル開発株式会社 顧問 高浦敬之が共同受賞。

※2 ASHRAE（アシュレイ）

1894 年創設。米国暖房冷凍空調学会。

空気調和・冷暖房に関する世界最大の最も権威のあるアメリカの国際的学会。

—京都駅ビル 建物概要—

所 在 地：京都市下京区烏丸通塩小路下る東塩小路町 901

構 造：鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造

敷地面積：約 38,000 m² 建築面積：約 32,400 m²

階 数：地下 3 階、地上 16 階、塔屋 1 階

主要用途：駅施設、百貨店、ホテル、文化施設、駐車場